

市民と市長のタウンミーティング要旨

日 時：令和6年7月11日（木） 15時30分～17時00分

場 所：コミュニティセンター草柳会館集会室

テ ー マ：新総合計画及び市政全般

参加人数：18人

○参加者からの意見等

【意見】

- ・ 国保税が43%上がり、私の場合10万円以上あがったので月3万ずつ支払っている。
- ・ なぜ急激にあげたのか、段階的にあげるなどの配慮はできなかったのか。
- ・ シリウスは建物が立派なのに、蔵書の質が悪い。
- ・ 借りようとした雑誌は2年前のものだけで、最新作は借りられなかった。
- ・ CDの貸出しも他市は対応しているのに大和市はできない。
- ・ 大和駅のプロムナードについて、ペットを散歩する際の糞尿がそのままになっていて大和市のイメージダウンに繋がる。

【市長】

- ・ 国民健康保険税の改正について、様々なご意見を頂戴している。
- ・ 大和市が大幅に増額することになったのは、12年間、税率等の改定を見送ってきたことが理由である。
- ・ 平成30年に国から県に所管が移り、令和8年までに赤字を是正するよう言われており、赤字分は市民の皆さんの税金で補填している。
- ・ 国民健康保険の被保険者数は全市民に対し2割に満たない中で、一般会計から赤字補填を行うことは、税の公平性の観点からも課題があったことから、国や県等の公費収入で賄えない額をご負担いただいた。
- ・ 生活が苦しい方への優遇措置について、審議会に専門家たちを集めて議論し、市議会での議論を経て優遇措置を設けることとした。
- ・ 他市は3年ごとに上げていたが、大和市は12年間上げていなかった反動が出ており申し訳なく思っている。
- ・ シリウスの蔵書については、市の税収が苦しいことが原因で、以前の図書館の本を使いまわしていることも影響している。
- ・ シリウス、ポラリス、ベテルギウスなどの公共施設を作り出したが、すべてお金を生み出せないため、財政を圧迫しており、事業の見直しなどを行って健全財政を目指している。
- ・ 市の収入を上げていくために、様々な検討を行っている。
- ・ シリウスのげんきっこ広場はとても人気があり市外からも利用がある。
- ・ 都内の同様の施設は利用料1000円以上しているので、市外の利用料金を現在の300円から500円～1000円する、シリウスの蔵書購入費用を賄うためネーミングライツを導入するなどにも検討していきたい。

- ・ 税収を大きく上げるためには、商業施設ではなく、新しい産業の誘致、若者が来て若者が働ける場所をつくっていききたい。
- ・ プロムナードは飼い主のマナーだと思うので、しっかり啓発をしていく。

【意見】

- ・ スタンドパイプについて、実際に使われたのが横浜市、東京都で各1件とほとんど使われていない。
- ・ 大和市では各自治会で緊急の使用訓練もしているが、実際に使うためには、最低でも2～3人必要で、慣れている人でも10分はかかるため、使う前に消防車が来てしまい効率が非常に悪い。
- ・ 消防車が入りにくい場所には有効だと思うので、市内に万遍なく置くのではなく、必要な場所に置けばいいと思う。

【市長】

- ・ スタンドパイプについて、約4億5000万円かけて大和市全体に設置したが、ホースなどの劣化を防ぐため更新も必要でその都度何億もかかる。
- ・ 緊急時に本当にスタンドパイプが使えるのか見直しをしている。
- ・ 普通の消火器は2～30秒使えるので、2～3分使える消火器を用意して初期消火に対応できるか今まさに検討しているところである。
- ・ 救急車や消防車が入りにくい狭い場所についても、緊急車両が曲がりやすくするための隅切りを道路整備計画に落とし込みたい。
- ・ 隅切りの部分を市が買い上げることも含めて検討していきたい。

【意見】

- ・ 小中学校の老朽化したプールが順次解体されており、現在は引地台温水プールを使っている。
- ・ プール廃止後の跡地運用について、現時点で何か決まっていることがあれば教えてほしい。

【市長】

- ・ 小中学校のプールについては、老朽化が著しいプールを順次解体していく予定である。
- ・ 全国的に見ても、子どもが減ってきている中で1学校1プールは難しくなってきており、6月末から7月中旬までと授業期間が短い、雨天は中止になる、熱中症の危険もある、35人を1人で見るとは非常に危険であり先生方の負担も大きいなど課題が多い。
- ・ 費用対効果を考えて、通年授業を引地台温水プールで行い、水の恐さや水泳の教育をしっかりとしていきたい。
- ・ プールの跡地は有効活用したいので、学校と調整しながら使いやすい形に整備していく。

【意見】

- ・現在、専門学校に通っており、子どもを児童クラブに預けているが、「専門学校の授業の時間のみ」が預かりの対象で、試験前など先生の指導の下、針を刺すなどの指導を受けているが、自主的な活動は授業ではないので預けることはできないと言われて困っている。
- ・大和市は、預かりのために実習日の申告なども毎回必要だが、同じ学校に通う横浜市のママ友はそんなことしたことがないと言っていた。

【市長】

- ・児童クラブについては、様々な点で見直しが必要と考えている。
- ・預かりの対象について、ご意見を関係する所管課と情報共有し、対応の可否について検討させていただく。

【意見】

- ・市内20館のコミセンはどこの会館も30年以上経過しており、運営の向上が必要と感じている。
- ・コミセンを地域の拠点として、児童館で遊ぶ子どもが多世代と交流する場になったらと考えているが、コミセンは生活あんしん課、児童館はこども・青少年課と縦割りで別の施設という扱いで現時点では実現が難しい。
- ・コミセンは団体利用に限定しているが利用数が減っている状況もあるので、個人利用を可能とし、シリウスのように気軽に立ち寄れる場にしてはどうか。

【市長】

- ・コミセンは地域の交流の要と考えているので、縦割りでなく横のつながりをもった柔軟な運営ができるようにしていければと考えている。
- ・子どもたちの遊び場という点については、本日、タウンミーティングに来る前に、子どもたちの放課後の居場所について関係する所管課と議論をしていたところである。
- ・ご意見については、関係する所管課に情報提供し、対応の可否について検討させていただく。

【意見】

- ・市営住宅の空室について、市営住宅は564戸あるが各住宅に1割ほど空室あるように見受けられる。
- ・市営住宅に住んでいる側からすると、高齢化が進展する中で、空室があると自治会役員の頻度も多くかなりの負担である。
- ・年2回募集があるが、10戸ほどしか募集されていないので、空室のまま放置することがないよう要望する。
- ・高齢者のデジタル環境について、市でもスマホ教室をやっているようだが、そもそもスマホを持っていない、ネット環境がないという方も多く、市に問い合わせるとダウンロードしてくれと言われ困っており、そういった方たちを取り残さないようにして欲しい。

- ・星の子広場、やまと公園、ゆとりの森、とても素晴らしい施設だが、緑が少なく木陰もない。
- ・大和市は川崎市に続いて緑が少ない自治体なのでもっと増やして欲しい。

【市長】

- ・市営住宅について、ご意見を関係する所管課に情報提供する。
- ・デジタル対応が難しい方を取り残さないように、デジタルではない対応についても寄り添った対応をしていく。
- ・木陰のない公園についてのご意見は関係する所管課と情報共有し対応の可否について検討させていただく。
- ・市内には手を入れていない緑も多いので、市民に喜ばれる緑にして心和むような形にしていきたい。
- ・市役所も正面玄関側の樹木や雑草を手入れしたが、それ以外の場所はまだ手付かずなので、しっかり管理していく。

【意見】

- ・小学校児童数について、市内の北部は非常に多いが南部は減少している。
- ・地域によってかなりの差があることについて市長はどう感じているか。
- ・子どもの見守り活動に関わりたいと思っている人はけっこういる。
- ・先生方は子どもたちの見守りについて対応はできず困っている。
- ・手伝いたいのに手伝い方がわからない、手伝って欲しいのに依頼ができていないという感じで、マッチングがうまくいってない気がする。
- ・こういう状況について市長はどう思われるか。

【市長】

- ・市内の児童数については北部と南部で差があるが、教育内容は平等にしっかりとやっており、中学校は北部から南部であれば越境を認めるなど、教育委員会もできる限りの対応を行っている。
- ・地域の方々の関わりについては、学校や児童クラブなど子どもに関わる部分については要件が厳しく、指導員や補助員が配備できないこともある。
- ・地域には素晴らしい人格者がいるので、市独自の講習を受け、学校長が面接をすることで、子どもたちの預かりや見守りに参加できるようにするなど、大和スタイルを見出していきたい。

【意見】

- ・福祉タクシー利用券について、1か月2千円分、1年最大2万4千円分交付されており、1回の乗車で2千円分まで使用できる。
- ・先日、ボランティアをしている視覚障がいのある方から、小田急線で事故があり踏切が渡れず大和駅から下鶴間の自宅まで4千円かかったが、こういう時に1回の上限以上の利用券を使うことは可能なのか？

【市長】

- ・福祉タクシー利用券は1回の使用に上限がある。

- ・突発的な事故の影響で料金が高くなった場合に上限を超えて利用券を使うことについて、柔軟な対応が可能か、関係する所管課と一緒に検討させていただく。

【意見】

- ・総合計画について、災害対策に関する内容が非常に少なく感じる。
- ・地震などの災害が起きた場合、自治会頼りになっているのが実情である
- ・災害時に助かりたいから自治会に残るといふ人もいる。

【市長】

- ・総合計画が抽象的で具体性に欠けるように見えるが、基本構想10年、基本計画5年、実施計画3年という括りで、具体的な事業については実施計画に落とし込むものである。
- ・10年の基本構想で細かく決めるものではないことをご理解いただきたい。
- ・東日本大震災、熊本地震、能登半島地震などの被災地でボランティア活動をした経験から申し上げますと、市職員約2000人で、大和市民約24万人全部を見ることは難しく、災害時は自治会頼りの部分がある。
- ・自治体は様々な災害の教訓から学んで対策しているが、能登半島地震の石川県七尾市、富山県高岡市の現場を見ると、対応しきれていない所が多かった。
- ・家庭の防災対策で、大きな災害の直後は水や食料の準備を半年分ぐらいするのに喉元過ぎればではないが、時間の経過と共に対応が緩くなるのと同じだと思う。
- ・大和市は地盤が強いことが関東大震災の記録からもわかっており、厚木基地、私鉄3路線が出来たのも地盤の強さが大きいですが、それに驕らず災害対策はしっかりとやっていく。
- ・人口密度の高さ、住宅の密集が問題なので、来年度から5か年計画で学校体育館に空調を設置して避難生活施設の環境を向上させようと考えている。
- ・能登半島地震では水の問題があるので、大和市は災害井戸の整備を進めており、上水道が使えなくなっても生活用水に使えるようにしたい。
- ・学校やコミセンなど公共施設に井戸が付けられたら対応していきたい。
- ・災害発生から3日間は自助で対応いただくが、身体の不自由な方の支援もしっかり対応していきたい。
- ・自治会については宝と考えており、災害時に秩序が保たれ、略奪や暴動が起これば、人と人が協力して共助で乗り越えられているのは自治会があるからである。
- ・低下する自治会の加入率を上げるために、職員と共に先進自治体の事例を調査研究している。
- ・自治会加入について、これまでのやり方ではなく、もう一步踏み込んだ形の啓発をするとともに、インセンティブをつけるなどして加入率をあげたい。

【意見】

- ・ リサイクルステーションの持続可能な方策について、進捗状況を聞きたい。

【市長】

- ・ リサイクルステーションの維持管理が自治会の皆さんの負担になっていることは重々承知している。
- ・ ごみが貴重な資源として、税収に繋がれば大和市にとってもプラスになる。
- ・ 可燃ごみと同じように戸別回収することについて、対応の可否を判断するためにモデル地区で試行的に実施していきたい。
- ・ 綺麗なまちは、犯罪の抑止につながり大和市のイメージを向上させる。
- ・ 大谷翔平選手のように、ごみを拾うのは運を拾うことである、というような心掛けを啓発して、大和市をごみのないまちにしたい。